

キュービクル内に溜まった雨水を排水中に感電負傷

1. 事故発生事業場の概要

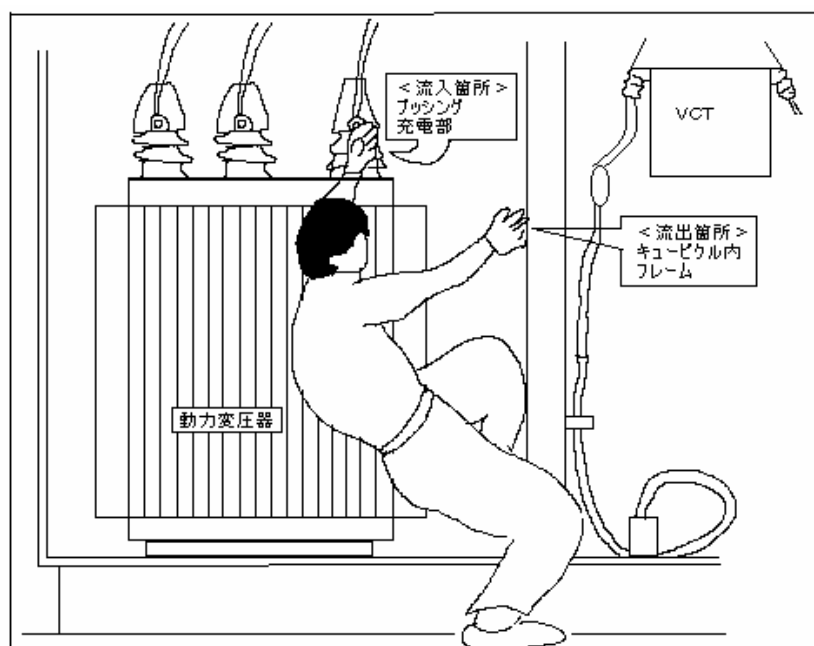
受電電圧：6.6 kV、受電電力：123 kW、主任技術者の選任形態：外部委託

2. 事故の概要

前日の大雨のため、キュービクル内に大量の雨水が浸入した。被災者（店舗従業員）、は、キュービクル裏面扉を開放し、キュービクル内の高圧ケーブル保護管に溜まった雨水を排水するため、運転中のキュービクル内に入り樹脂製簡易手動ポンプにて排水作業を開始した。

被災者は作業中、右足が滑り体勢を崩し、キュービクル内の変圧器の充電部に左手甲が接触し感電するとともに右手はキュービクル内部フレームをつかんだため、感電電流の流出及び手のひらをフレームの角で負傷した。

被災者は、作業手袋、作業帽を着用していなかった。



3. 事故の再発防止対策

この事故の教訓として、次のような安全対策が望まれる。

- ① 素人作業（工事）を避けること。
- ② 高圧電気設備の危険性について説明し、高圧充電部に近寄らないよう保安教育を徹底すること。
- ③ キュービクルの鍵の取扱を厳重に行い、主任技術者以外に貸し出さないようにし、他の業者に貸し出す場合には、主任技術者への連絡方法を明確にしておき、必要な際に連絡できるようにすること。

台風等の自然災害が多い中、キュービクル等に雨水等侵入により、本件のような復旧作業に迫られるケースもあると思われませんが、そうした復旧作業にあたっては、素人作業の危険性等を再確認するとともに、安全確保の最優先を徹底することが肝要である。